



Taka Ishii

Gallery

6-5-24 3F Roppongi Minato-ku Tokyo #106-0032, Japan
tel +81 (0)3 6434 7010
fax +81 (0)3 6434 7011
web www.takaishiigallery.com
email tig@takaishiigallery.com

畠山直哉 Naoya HATAKEYAMA

- 1958 岩手県陸前高田市生まれ
- 1981 筑波大学芸術専門学群総合造形コース卒業
- 1984 筑波大学大学院芸術研究科修士課程デザイン専攻修了
- 1997 第22回木村伊兵衛写真賞受賞
- 2000 第16回東川賞国内作家賞受賞
- 2001 第42回毎日芸術賞受賞
第49回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館参加
- 2003 日本写真協会年度賞受賞
- 2012 芸術選奨文部科学大臣賞受賞
第13回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展日本館参加（金獅子賞受賞）
- 2015 文化庁文化交流使としてメキシコを中心に5ヶ月間活動
紫綬褒章受章
- 2016 日本写真協作家賞受賞
東京藝術大学大学院映像研究科教授（メディア映像）
- 2025 日本芸術院会員

個展

- 2024 「津波の木」 タカ・イシイギャラリー（東京）
- 2023 「Yokohama Souvenir」 ケルン市立東洋美術館（ケルン、ドイツ）
- 2022 「津波の木」 PURPLE（京都）
「Taiza, Tango」 卍（京都）
- 2019 「光のマケット」 テート・モダン（ロンドン、イギリス）
- 2018 「Naoya Hatakeyama: Excavating the Future City」 ミネアポリス美術館（ミネアポリス、ミネソタ州、アメリカ） [カタログ]
「陸前高田 2011-2017」 リュウ・ユニック（ナント、フランス）
- 2017 「陸前高田 2011-2016」 グアナフアト芸術歴史美術館（レオン、メキシコ）

- 2016 「まっぷたつの風景」 せんだいメディアテーク（宮城）[カタログ]
「Underground / Water」 タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー パリ（パリ、フランス）
- 2015 「陸前高田 2011-2014」 銀座ニコンサロン（東京、3月25日-4月7日）；その後 大阪ニコンサロン（大阪、4月30日-5月13日）へ巡回
- 2013 「Blast」 タカ・イシイギャラリー（東京）
「気仙川／陸前高田2011」 エスパス・ル・カレ（リール、フランス）
- 2011 「Terrils」 コールファス・ギャラリー（ヘント、ベルギー）
「Natural Stories」 東京都写真美術館（東京、10月1日-12月4日）；その後 ハウス・マルセイユ写真美術館（アムステルダム、オランダ、2011年12月16日-2012年2月26日）；サンフランシスコ近代美術館（サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ、2012年7月28日-11月4日）へ巡回[カタログ]
- 2010 「Terrils」 ルワルド鉱業歴史センター（ルワルド、フランス）
「Blast」 草場地撮影季（北京、中国）
「線をなぞる/山手通り」 タカ・イシイギャラリー（東京）
「Scales」 大和日英基金（ロンドン、イギリス）
- 2009 「光のマケット」 タカ・イシイギャラリー京都（京都）
「Naoya Hatakeyama」 アルル国際写真祭（アルル、フランス）
- 2008 「Ciel Tombé」 タカ・イシイギャラリー（東京）
- 2007 「Draftsman's Pencil」 (今日の作家XI：鷺見和紀郎・畠山直哉) 神奈川県立近代美術館 鎌倉（神奈川）[カタログ]
「Scales」 カナダ建築研究所（モントリオール、カナダ）
「A BIRD」 空蓮房（東京）
- 2006 「二つの山」 (バルタザール・ブルクハルト、畠山直哉) 東京アートミュージアム（東京）
「Zeche Westfalen I/II Ahlen」 タカ・イシイギャラリー（東京）
- 2005 「Tokyo, A City of Light」 サンタフェ大学マリオン・センター（サンタフェ、ニューメキシコ州、アメリカ）
「Naoya Hatakeyama」 クンストハレ・ザンクト・アネン（リュールベック、ドイツ）
- 2004 「Atmos」 L.A. ギャラリー（フランクフルト、ドイツ）
「Naoya Hatakeyama」 C/O Berlin（ベルリン、ドイツ）
「Atmos」 大阪成蹊大学芸術学部 space B（大阪）
- 2003 「Naoya Hatakeyama」 アルル国際写真祭（アルル、フランス）
「Naoya Hatakeyama」 BBK 財団（ビルバオ、スペイン）

- 「Atmos」タカ・イシイギャラリー（東京）
- 2002 「Slow Glass」ノーザン・ギャラリー（サンダーランド、イギリス）；ウィンチェスター・ギャラリー（ウィンチェスター、イギリス）；インプレッションズ・ギャラリー（ヨーク、イギリス）；ディック・インスティテュート（キルマーノック、グラスゴー、イギリス）ほか巡回
- 「Naoya Hatakeyama」ハノーファー美術協会（ハノーファー、ドイツ）；クンストハレ・ニユルンベルク（ニユルンベルク、ドイツ）；ハウス・マルセイユ写真美術館（アムステルダム、オランダ）へ巡回
- 「島山直哉写真展」岩手県立美術館（岩手、8月3日-9月16日）；国立国際美術館（大阪、11月7日-12月17日）へ巡回
- 「Slow Glass」L.A. ギャラリー（フランクフルト、ドイツ）
- 「Slow Glass」タカ・イシイギャラリー（東京）
- 2001 「UNDER CONSTRUCTION」（島山直哉、伊東豊雄）AA スクール（ロンドン、イギリス）；コロンビア大学建築ギャラリー（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）へ巡回
- 2000 「Lime Works」コロンビア大学建築ギャラリー（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
- 「Underground」L.A. ギャラリー（フランクフルト、ドイツ）
- 1999 「Underground」中京大学アートギャラリー C・スクエア（愛知）
- 「Underground」マサタカ ハヤカワ ギャラリー（東京）
- 1998 「島山直哉」結城市民文化センター（茨城）
- 「BLAST」ギャラリーNW ハウス（東京）
- 「Naoya Hatakeyama」L.A. ギャラリー（フランクフルト、ドイツ）
- 1997 「Lime Works」ミノルタフォトスペース（東京、大阪ほか）
- 1996 「都市のマケット」ギャラリーNW ハウス（東京）
- 「Lime Works」ローマ日本文化会館（ローマ、イタリア）；ディアゴナーレ・マルチメディア・センター（ローマ、イタリア）へ巡回
- 1994 「Lime Works」ギャラリーNW ハウス（東京）
- 「The City and its Origin」フォックス・トルボット博物館（レイコック、イギリス）
- 1991 「Lime Works」フォト・インターフォーム（大阪）
- 1990 「A travers la Tunisie」アラブ世界研究所（パリ、フランス）
- 1989 「等高線」エルーヴィル劇場（カン、フランス）；アルトテック・ドゥ・ナント（ナント、フランス）；ファレーズ市立図書館（ファレーズ、フランス）へ巡回
- 1988 「Lime Hills」ツァイト・フォト・サロン（東京）
- 1987 「Lime Hills」フォト・インターフォーム（大阪）
- 1986 「島山直哉」東京造形大学（東京）

1983 「等高線」 ツァイト・フォト・サロン（東京）

主なグループ展

- 2026 「TOP コレクション Don' t think. Feel.」 東京都写真美術館（東京）
「コレクション3 反射する都市」 国立国際美術館（大阪）
- 2025 「Metamorphosis: Space and Society in the Idealist Collection」 Serrería Belga（マドリード、スペイン）
「東京ビエンナーレ 2025」 エトワール海渡リビング館（東京）
「The Way of Nature: Art from Japan, China, and Korea」 ボルチモア美術館（ボルチモア、メリーランド州、アメリカ）
「ニュー・ユートピア——わたしたちがつくる新しい生態系」 弘前れんが倉庫美術館（青森）
[カタログ]
「Memento: Photography, interrupted」 ハウス・マルセイユ写真美術館（アムステルダム、オランダ）
「総合開館 30 周年記念 TOP コレクション 不易流行」 東京都写真美術館（東京） [カタログ]
- 2024 「Making It Matters」 M+（香港）
「TRIO パリ・東京・大阪 モダンアート・コレクション」 東京国立近代美術館（東京、5月21日-8月25日）；その後 大阪中之島美術館（大阪、9月14日-12月8日）へ巡回 [カタログ]
「ヨーゼフ・ボイス ダイアローグ展」 GYRE GALLERY（東京）
「写真をめぐる 100 年のものがたり」 静岡市美術館（静岡） [カタログ]
「未来都市シブヤ エフェメラを誘発する装置」 GYRE GALLERY（東京）
- 2023 「東京ビエンナーレ 2023」 エトワール海渡リビング館（東京）
「写真展 福島、東北 写真家たちが捉えた風土／震災」 福島県立博物館（福島）
「回復する」 猪熊弦一郎現代美術館（香川）
「Chêne Pointu」 シェーヌ・ポワンテュ・ショッピングセンター（クリシー＝ス＝ボワ、フランス） [カタログ]
- 2021 「リバーシブルな未来：日本・オーストラリアの現代写真」 東京都写真美術館（東京） [カタログ]
「森と水と生きる」 長野県立美術館（長野） [カタログ]
大林コレクション展「都市と私のあいだ」 WHAT MUSEUM（東京）
「Listening to the Stones」 クンストハウス・ドレスデン（ドレスデン、ドイツ） [カタログ]

- 2020 「DOMANI・明日 2020 傷ついた風景の向こうに」国立新美術館（東京）[カタログ]
「Thank You Memory - 醸造から創造へ -」弘前れんが倉庫美術館（青森）
「Pictures from Another Wall: The collection of Huis Marseille at De Pont」デ・ボン美術館（ティルブルフ、オランダ）
- 2019 「Parergon: Japanese Art of the 1980s and 1990s」BLUM & POE（ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ）[カタログ]
- 2018 「カタストロフと美術のちから」森美術館（東京）[カタログ]
「2018 ソウルフォトフェスティバル/Brave New World」ソウル市立美術館（ソウル、韓国）
「A Beautiful Moment」ハウス・マルセイユ写真美術館（アムステルダム、オランダ）
「s. m. a. r. t: paths towards sustainability」PHotoESPAÑA（マドリッド、スペイン）
「建築の日本展：その遺伝子のもたらすもの」森美術館（東京）[カタログ]
開館 40 周年記念展 「トラベラー：まだ見ぬ地を踏むために」国立国際美術館（大阪）[カタログ]
- 2017 「ヨコハマトリエンナーレ 2017」横浜美術館（神奈川）[カタログ]
「On The Art of Building a Teahouse: Excursions into Japanese Aesthetics」ニュルンベルク新美術館（ニュルンベルク、ドイツ）
「椿会展『初心』2017」資生堂ギャラリー（東京）
「Japan-ness. Architecture and urbanism in Japan since 1945」ポンピドゥー・センター・メス（メス、フランス）[カタログ]
「Japanorama. A new vision on art since 1970」ポンピドゥー・センター・メス（メス、フランス）[カタログ]
- 2016 「写真の〈原点〉再考—ヘンリー・F・トルボット『自然の鉛筆』から」京都国立近代美術館（京都）
「ニュー“コロニー／アイランド”2 ～災害にまつわる所作と対話～」アートエリア B1（大阪）
「椿会展『初心』2016」資生堂ギャラリー（東京）
「風景のかたち—前田真三と現代日本の風景写真」足利市立美術館（栃木）
「Japanese Photography from Postwar to Now」サンフランシスコ近代美術館（サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ）
「Eaux troubles, Eaux calmes」フランソワ・シュナイダー財団（ヴァットヴィレール、フランス）
「The Edge of the Earth: Climate Change in Photography and Video」ライアソン・イメージ・センター（トロント、カナダ）
「The Japanese House. Architecture & life after 1945」イタリア国立 21 世紀美術館（ロ

- ーマ、イタリア、2016年11月9日-2017年2月26日);その後 バービカン・センター (ロンドン、イギリス、2017年3月22日-6月25日);東京国立近代美術館 (東京、2017年7月19日-10月29日)へ巡回[カタログ]
- 2015 「椿会展『初心』2015」資生堂ギャラリー (東京)
 「In the Wake: Japanese Photographers Respond to 3/11」ボストン美術館 (ボストン、マサチューセッツ州、アメリカ)
- 2014 「Traces of Disappearance」エスパス ルイ・ヴィトン東京 (東京) [カタログ]
 「椿会展『初心』2014」資生堂ギャラリー (東京)
 「WARAKOH think and feel 東北 vol.2 変わったもの、変わらずにあるもの」葺工ミュージアム (高知)
 「タマ/アニマ (わたしに息を吹きかけてください) 内藤礼 島山直哉 写真」ギャラリー小柳 (東京)
 「The Marseillaise / fifteen years of collecting」ハウス・マルセイユ写真美術館 (アムステルダム、オランダ)
 企画展示「都市と自然」(札幌国際芸術祭2014)北海道立近代美術館 (北海道)
 「これからの写真」愛知県美術館 (愛知)
 「Transmission」スタジオ35分 (東京)
 「THE MIRROR: Hold the Mirror up to nature」名古屋商工会館 (東京)
 「3.11以後の建築」金沢21世紀美術館 (石川、2014年11月1日-2015年5月10日);水戸芸術館 (茨城、2015年11月7日-2016年1月31日)へ巡回
- 2013 「『ここに、建築は、可能か』第13回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 日本館帰国展」TOTOギャラリー間 (東京)
 「つくることが生きること:東日本大震災復興支援プロジェクト展」デザイン・クリエイティブセンター神戸 (兵庫)
 「椿会展『初心』2013」資生堂ギャラリー (東京)
 「高橋コレクション展 マインドフルネス!」鹿児島県霧島アートの森 (鹿児島、7月12日-9月1日);その後 札幌芸術の森美術館 (北海道、9月14日-11月24日)へ巡回[カタログ]
 「堂島リバービエンナーレ 2013『Little Water』」堂島リバーフォーラム (大阪)
 「WORLD IMAGES 5」ヘルムハウス (チューリヒ、スイス)
 「ラスト・シーン」中京大学アートギャラリー C・スクエア (愛知)
- 2012 「東北 - 風土・人・暮らし」中華世紀壇世界美術館 (北京、中国)ほか巡回
 「3.11とアーティスト:進行形の記録」水戸芸術館 (茨城)
 「ここに、建築は、可能か」第13回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展日本館 (ヴェネチ

- ア、イタリア) [カタログ]
- 国立国際美術館開館 35 周年記念展「コレクションの誘惑」国立国際美術館 (大阪)
- 「つくることが生きること：東日本大震災復興支援プロジェクト展」3331 Arts Chiyoda (東京)
- 2011 「Documented, Doubtful and Imagined Realities: Contemporary Photography from Japan and Taiwan」Yi&C Contemporary Art (台北、台湾) [カタログ]
- 「所蔵作品展 近代日本の美術 第 1 回」東京国立近代美術館 (東京)
- 「Remembrance of the Future to Come」Former “Plug in” (バーゼル、スイス)
- 2010 「Ruptures and Continuities: Photography Made After 1960 From the MFAH Collection」ヒューストン美術館 (ヒューストン、テキサス州、アメリカ)
- 「Landscape without Horizon」シュロス・モイランド美術館 (ベドブルグ・ハウ、ドイツ) [カタログ]
- 「Beyond Mediations」メディエーションズ・ビエンナーレ (ポズナン、ポーランド)
- 「陰影礼讃—国立美術館コレクションによる」国立新美術館 (東京)
- 2009 「中国現代美術との出会い—日中当代芸術にみる 21 世紀的未来—」栃木県立美術館 (栃木) [カタログ]
- 「Nippon Kōbō」FORMA (ミラノ、イタリア)
- 「Prix Pictet: Earth」パッサージュ・デ・レ (パリ、フランス、10 月 23 日-11 月 24 日); その後 モスクワ写真美術館 (モスクワ、ロシア、2010 年 5 月 27 日-6 月 27 日); FORMA (ミラノ、イタリア、2010 年 10 月 5 日-17 日) ほかに巡回[カタログ]
- 2008 「First Doubt: Optical Confusion in Modern Photography」イエール大学アートギャラリー (ニューヘイヴン、コネチカット州、アメリカ)
- 「Asian Dub Photography」モデナ貯蓄銀行財団 (モデナ、イタリア)
- 「Water in Photography」ハウス・マルセイユ写真美術館 (アムステルダム、オランダ)
- 「建築の記憶：写真と建築の近現代」東京都庭園美術館 (東京) [カタログ]
- 「アートは心のためにある：UBS アートコレクションより」森美術館 (東京)
- 「Heavy Light: Recent Photography and Video from Japan」国際写真センター (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)
- 「写★新世界」せんだいメディアテーク (宮城)
- 「Two Mountains: Naoya Hatakeyama and Balthasar Burkhard」ザルツブルク近代美術館 (ザルツブルク、ドイツ)
- 2007 「Fascination」日本橋高島屋美術画廊 X (東京)
- 「An Incomplete World: Works from the UBS Art Collection」ニューサウスウェールズ州

- 立美術館（シドニー、オーストラリア、5月19日-8月5日）；その後 国立ヴィクトリア美術館（メルボルン、オーストラリア、2007年9月28日-2008年1月6日）へ巡回
- 「New Territories」L.A. ギャラリー（フランクフルト、ドイツ）
- 「Thermocline of Art: New Asian Waves」ZKM現代美術館（カールスルーエ、ドイツ）[カタログ]
- 「The Suspended Moment」Z33（ハッセルト、ベルギー）
- 「Mapas, cosmogonías e puntos de referencia」ガリシア現代美術センター（サンティアゴ・デ・コンポステーラ、スペイン）[カタログ]
- 「Global Cities」テート・モダン（ロンドン、イギリス）
- 「美麗新世界—当代日本視覚文化」広東美術館（広州、中国）、Inter Art Center（北京、中国）、Long March Space、（北京、中国）、BTAP - Beijing Tokyo Art Projects（北京、中国）[カタログ]
- 「Eyes of An Island」マイケル・ホッペン・ギャラリー（ロンドン、イギリス）
- 2006 「昭和の記憶-写真に甦る人々の情景-」群馬県立館林美術館（群馬）
- 「Tunnel Vision」アントワープ写真美術館（アントワープ、ベルギー）
- 「11 Contemporaries」マイケル・ホッペン・ギャラリー（ロンドン、イギリス）
- 「Spectacular City: Photographing the Future」オランダ建築研究所（ロッテルダム、オランダ）、NRWフォーラム（デュッセルドルフ、ドイツ）
- 「L' ÉCHO DES COLLECTIONS - carte blanche à Jacques Py」ル・リング、アルトテック・ドゥ・ナント（ナント、フランス）
- 「コレクション3」国立国際美術館（大阪）
- 2005 「第26回サンパウロ・ビエンナーレ・セレクション」チリ大学芸術学部現代美術館（サンティアゴ、チリ）
- 「Le Temps Suspendu: H & F Collection」アルザス現代芸術センター（アルトキルシュ、フランス）、ヴィーゴ現代美術館（ヴィーゴ、スペイン）
- 「Landschaft als Metapher」ウルズラ・ブリックル財団（クライヒタル、ドイツ）
- 「Das verlorene Paradies : die Landschaft in der zeitgenössischen Photographie」オペルヴィレン財団（リュッセルスハイム・アム・マイン、ドイツ）
- 「Multiple Räume (2) Park」バーデン＝バーデン国立美術館（バーデン＝バーデン、ドイツ）
- 「光と影の彼方に：まなざし・記憶・希望」北海道立釧路芸術館（北海道）
- 「Photographing Architecture」ギャラリー・クレアフォンタル（ルクセンブルク、ルクセンブルク）

- 「風景遊歩 sight-cruising」丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（香川）[カタログ]
- 「コレクション2」国立国際美術館（大阪）
- 「時代を切り開くまなざし—木村伊兵衛写真賞の30年—1975-2005」川崎市市民ミュージアム（神奈川）
- 「85/05—幻のつくば写真美術館からの20年」せんだいメディアテーク（宮城）[カタログ]
- 2004 「六本木クロッシング：日本美術の新しい展望 2004」森美術館（東京）
- 「メディアリーナ：日本のコンテンポラリー・アート」ゴベット・ブリュースター・アートギャラリー（ニュープリマス、ニュージーランド）
- 「ブレインストーミング：倫理の地勢学」国立風景芸術センター（ボーモン＝デュ＝ラック、フランス）
- 「StadtRäume」クンストフォーラム・バロワ（バーゼル、スイス）
- 「Natur nach Maß!?!」ツェッヒェ・ヴェストファーレン（アーレン、ドイツ）
- 「smt コンストラクション・ワンダーランド」せんだいメディアテーク（宮城）
- 「Metamorph」ヴェネチア・ビエンナーレ第9回国際建築展（ヴェネチア、イタリア）[カタログ]
- 「Take Five! Huis Marseille Turns Five」ハウス・マルセイユ写真美術館（アムステルダム、オランダ）
- 「Aspects of Architecture: Photographs from the V&A Collection and the Sheffield City Collection」グレーヴス・ギャラリー（シェフィールド、イギリス）
- 「Territorio livre」第26回サンパウロ・ビエンナーレ（サンパウロ、ブラジル）
- 「The Secret Forest of Princess Knight: Fantastic Landscapes from Japan」M.Y. アート・プロスペクツ（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
- 「Do You Believe in Reality?」台北ビエンナーレ、台北市立美術館（台北、台湾）
- 「10周年展」タカ・イシイギャラリー（東京）
- 2003 「Histories of Photography」フランシス・リーマン・ロープ・アートセンター（ポキプシー、ニューヨーク州、アメリカ）
- 「JAPAN - Keramik und Fotografie - Tradition und Gegenwart」ダイヒトアハレン・ハンブルク（ハンブルク、ドイツ）[カタログ]
- 「The History of Japanese Photography」ヒューストン美術館（ヒューストン、テキサス州、アメリカ）、クリーヴランド美術館（クリーヴランド、オハイオ州、アメリカ）[カタログ]
- 「Juegos de Escala」ガリシア現代美術センター（サンティアゴ・デ・コンポステラ、スペイン）
- 「Innatura」第10回国際写真ビエンナーレ（トリノ、イタリア）

- 「Timeframes」 ジャパン・ソサエティ (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)
- 「L' attitude」 ブライス・ウォルコウィッツ・ギャラリー (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)
- 「Consuming Nature」 コロンビア・カレッジ・シカゴ現代写真美術館 (シカゴ、イリノイ州、アメリカ)
- 「Mask of Japan: Contemporary Japanese Photography」 アウラ・ギャラリー (上海、中国)、広東美術館 (広州、中国)
- 「Kokoro no Arika, Location of the Spirit: Contemporary Japanese Art」 ルートヴィヒ美術館 (ブダペスト、オーストリア)、モスクワ市現代美術館 (モスクワ、ロシア)
- 2002 「未完の世紀：20世紀美術がのこすもの」 東京国立近代美術館 (東京)
- 「Episode」 ウォーリック大学ウォーリックアーツセンター・ミードギャラリー (コヴェントリー、イギリス)
- 「Orte des Unsichtbaren: Medienkünstler aus Japan und Korea」 ケルン日本文化会館 (ケルン、ドイツ)
- 「12人の挑戦：大観から日比野まで」 水戸芸術館 (茨城)
- 「DER BERG」 ハイデルベルク美術協会 (ハイデルベルク、ドイツ)
- 2001 「Bauart. Die Kunstsammlung der Heidelberger Zement AG」 クアプファルト博物館 (ハイデルベルク、ドイツ) [カタログ]
- 「Fast & Slow」 第49回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館 (ヴェネチア、イタリア)
- 「La Espiritualidad del Vacío」 バンカハ財団 (バレンシア、スペイン) [カタログ]
- 「Out of Japan」 ヴィクトリア&アルバート博物館 (ロンドン、イギリス)
- 「Monets Vermächtnis: Serie - Ordnung und Obsession」 ハンブルク美術館 (ハンブルク、ドイツ) [カタログ]
- 「New Heimat」 フランクフルト美術協会 (フランクフルト、ドイツ)
- 「Urban Pornography」 アーティスト・スペース (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)
- 2000 「予兆：アジアの映像芸術展」 国際交流基金フォーラム (東京) [カタログ]
- 「-scape:」 マサタカ ハヤカワ ギャラリー (東京)
- 「Yume No Ato: Was vom Traum blieb ... Zeitgenössische Kunst aus Japan」 ハウス・アム・ヴァルトゼー (ベルリン、ドイツ)、バーデン=バーデン国立美術館 (バーデン=バーデン、ドイツ)
- 「第16回東川賞受賞作家作品展」 東川町文化ギャラリー (北海道)
- 「Landschaft in der zeitgenössischen Fotografie」 オルデンブルク州立博物館 (オルデンブルク、ドイツ)

- 1999 「大辻清司と15人の写真家たち」東京造形大学（東京）
「Modena per la Fotografia 1999」モデナ市民ギャラリー（モデナ、イタリア）[カタログ]
「Wohin kein Auge reicht」ハンブルク写真トリエンナーレ、ダイヒトアハレン（ハンブルク、ドイツ）
「木村伊兵衛写真賞の軌跡 1975-1999」川崎市市民ミュージアム（神奈川）
「Toyo Ito: Blurring Architecture」ズーエモント・ルートヴィヒ美術館（アーヘン、ドイツ）
- 1998 「写真の現在：距離の不在」東京国立近代美術館フィルムセンター（東京）[カタログ]
「À prova de água: Waterproof」ベレム文化センター（リスボン、ポルトガル）[カタログ]
「Asia City」ザ・フォトグラファーズ・ギャラリー（ロンドン、イギリス）[カタログ]
「21st Anniversary ZEIT-FOTO-幻のNI CAF1998年展に代えて」アールスペースシモダ（東京）
「Speed: Visions of an Accelerated Age」ザ・フォトグラファーズ・ギャラリー（ロンドン、イギリス）[カタログ]
「Donai Yanen ! Et maintenant !: La création contemporaine au Japon」国立高等美術学校（パリ、フランス）[カタログ]
- 1997 「Interferenzen」L.A. ギャラリー（フランクフルト、ドイツ）
「LAZUR 夜想鉱物展」デルタ・ミラージュ（東京）
「都市のイメージ 東京国立近代美術館の写真コレクションより」東京国立近代美術館フィルムセンター（東京）
「Lust und Leere. Japanische Photographie der Gegenwart」クンストハレ・ウィーン（ウィーン、オーストリア、4月25日-7月20日）；その後 ヨーロッパ巡回
「時間/視線/記憶：90年代美術にみる写真表現」東京都現代美術館（東京）[カタログ]
「アートは楽しい8:複製時代」原美術館 ARC（群馬）
- 1996 「LAND OF PARADOX」フォトグラフィック・リソース・センター（ボストン、マサチューセッツ州、アメリカ）；その後 アメリカ、日本巡回
「アイデアル・スタンダード・ライフ」スパイラルガーデン（東京）
「第32回今日の作家展 ニュー・ジャパニーズ・フォトグラフィ 1990's 無意識の共鳴」横浜市民ギャラリー（神奈川）
- 1995 「アナザー・リアリティー -現代写真の動向」川崎市市民ミュージアム（神奈川）
- 1994 「Liquid Crystal Futures: Contemporary Japanese Photography」フルーツマーケット・ギャラリー（エジンバラ、イギリス）；その後 ヨーロッパ、東京巡回[カタログ]
「欲望の砂漠」スパイラルガーデン（東京）
「カワサキ・モニュメント」川崎市市民ミュージアム（神奈川）

- 1993 「In die Felsen bohren sich Zikadenstimmen: Zeitgenössische Japanische Fotografie」
クンストハウス・チューリッヒ (チューリッヒ、スイス) [カタログ]
- 1992 「現代写真の母型 3」川崎市市民ミュージアム (神奈川県)
- 1991 「コンテンポラリー フォトグラフィー 日本の 14 人展」日本橋三越アールクリオ (東京) [カ
タログ]
「オリエンタリズム検証」 ツァイト・フォト・サロン (東京)
「Vach' image」 MJC de Saint Gervais (サン＝ジェルヴェ＝レ＝バン、フランス)
「MAKE-BELIEVE: Contemporary Photography from Japan」 ザ・フォトグラファーズ・ギャラ
リー (ロンドン、イギリス); その後 イギリス巡回
- 1990 「写真 150 年 海の写真名品展」 下関市立美術館 (山口) [カタログ]
「日本のコンテンポラリー: 写真をめぐる 12 の指標」 東京都写真美術館 (東京)、パヴィヨン・
デザール (パリ、フランス) [カタログ]
- 1989 「第 9 回ハラ アニュアル」 原美術館 (東京)
「オリエンタリズムの絵画と写真展」 世界デザイン博覧会ホワイトミュージアム (愛知)
- 1988 「日本現代写真展」 コロンビア・カレッジ・シカゴ (シカゴ、イリノイ州、アメリカ)
「TAMA VIVANT '88」 シブヤ西武シードホール (東京)
- 1986 「Fotografia Japonesa Contemporanea」 Circulo de Bellas Artes (マドリード、スペイン):
その後 Casa Elizalde (バルセロナ、スペイン); Diputación de Valencia Sala Parpalló (バ
レンシア、スペイン); Museo de Bellas Artes de Bilbao (ビルバオ、スペイン) へ巡回
- 1985 「パリ・ニューヨーク・東京」 つくば写真美術館 (茨城) [カタログ]
- 1983 「PHOTOGRAPHY 展」 画廊みやざき (大阪)
- 1982 「15 contemporary photographic expressions」 筑波大学大学会館別館 (茨城)
- 1981 「カメラワークス・イグズィビション」 筑波大学大学会館ギャラリー (茨城)

出版物

『津波の木』 小学館、2024 年

『丹後-古代史の遠いこだま』 (池澤夏樹との共著) 河出書房新社、2024 年

『陸前高田市東日本大震災遺構』 赤々舎、2022 年

『見えている パチリ!』 (大竹昭子との共著) カタリココ文庫、2022 年

『空蓮房: 仏教と写真』 (谷口昌良との共著) 赤々舎、2019 年

『伊東豊雄: 台中歌劇院』 建築資料研究社、2019 年

『Naoya Hatakeyama: Excavating the Future City』Aperture Foundation、2018年

『まっぷたつの風景』赤々舎、2017年

『Rikuzentakata』Light Motiv、2016年

『出来事と写真』（大竹昭子との共著）赤々舎、2016年／増補版：小学館、2024年

『陸前高田 2011-2014』河出書房新社、2015年

『島山直哉』（ヴァガボンズ・スタンダード 4）平凡社、2015年

『Kesengawa』Light Motiv、2013年

『BLAST』小学館、2013年

『気仙川』河出書房新社、2012年

『Terrils』ライト・モチーフ／タカ・イシイギャラリー、2011年

『Ciel Tombé』スーパーラボ、2011年

『話す写真 見えないものに向かって』小学館、2010年

『Draftsman's Pencil』神奈川県立近代美術館、2007年

『Scales』CCA／Nazraeli Press、2007年

『A BIRD BLAST #130』タカ・イシイギャラリー、2006年／新版：roshin books、2025年

『二つの山』（バルタサール・ブルクハルトとの共著）二つの山展実行委員会、2006年

『Zeche Westfalen I/II Ahlen』Nazraeli Press、2006年／フランス語版：Textuel、2006年

『River Series / Shadow』Nazraeli Press、2004年

『Atmos』Nazraeli Press、2003年

『島山直哉』淡交社、2002年

『Naoya Hatakeyama』Hatje Cantz、2002年／スペイン語・バスク語版：BBK、2003年

『Slow Glass』Light Xchange with The Winchester Gallery、2002年

『UNDER CONSTRUCTION』（伊東豊雄との共著）建築資料研究社、2001年

『Underground』メディアファクトリー、2000年

『Lazur 透きとおる石』（大谷芳久との共著）ペヨトル工房、1997年

『ライム・ワークス』シナジー幾何学、1996年／新版：アムズ・アーツ・プレス、2002年；青幻舎、2008年、2025年

『Naoya Hatakeyama: CITTA IN NEGATIVO -DA LIME WORKS』Diagonale s.r.l.、1996年

『等高線』CAMERA WORKS、1982年 [定期刊行物『camera works tokyo』no.9]

主なパブリック・コレクション

カナダ建築センター（モントリオール、カナダ）

国立造形芸術センター（CNAP） / 国立現代美術基金（FRAC）（パリ、フランス）

ガリシア現代美術センター（サンティアゴ・デ・コンポステラ、スペイン）

スイス写真財団（ヴィンタートゥーア、スイス）

ハウス・マルセイユ写真美術館（アムステルダム、オランダ）

国際写真センター（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）

国際交流基金（東京）

J・ポール・ゲティ美術館（ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ）

北海道立釧路芸術館（北海道）

ヨーロッパ写真美術館（パリ、フランス）

ミルウォーキー美術館（ミルウォーキー、ウィスコンシン州、アメリカ）

ミネアポリス美術館（ミネアポリス、ミネソタ州、アメリカ）

森美術館（東京）

ヒューストン美術館（ヒューストン、テキサス州、アメリカ）

ニューヨーク近代美術館（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）

神奈川県立近代美術館（神奈川）

国立国際美術館（大阪）

東京国立近代美術館（東京）

プリンストン大学美術館（プリンストン、ニュージャージー州、アメリカ）

サンフランシスコ近代美術館（サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ）

せんだいメディアテーク（宮城）

テート（ロンドン、イギリス）

東京都写真美術館（東京）

ヴィクトリア&アルバート博物館（ロンドン、イギリス）

イエール大学美術ギャラリー（ニューヘイヴン、コネチカット州、アメリカ）

山口県立美術館（山口）